





宮本三郎 花々と、女たちと Women and Flowers 2019.4.2. tue  $\sim 2019.10.6$ . sun

世田谷美術館分館

# 宫本三郎記念美術館 Miyamoto Saburo Memorial Museum

展覧会名 平成 31 年度第 I 期収蔵品展 「宮本三郎 花々と女たちと Women and Flowers |

会 期 2019年4月2日[火]~2019年10月6日[日]

会場 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館 Miyamoto Saburo Memorial Museum

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-38-13 TEL:03-5483-3836 www.miyamotosaburo-annex.jp

主 催 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷美術館

開館時間 10 時~18 時(最終入館は17 時30分まで)

休館日 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日は休館=5月7日「火」、

7月16日[火]、8月13日[火]、9月17日[火]、9月24日[火])

\*4月23日「火」~5月6日「月・振替休日」までは開館

観 覧 料 一般 200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上、中小生100円(80円)、

障害者 100円 (80円) ただし小・中・高・大学生の障害者は無料、介助者 (当該障害者1名につき1名)

は無料 ※( )内は20名以上の団体料金 ※小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

洋画家・宮本三郎(1905-1974)は生涯に二度渡欧し、西洋絵画の歴史や伝統を学びました。

1939年の初めてのパリでは、ルーヴル美術館で名画を鑑賞し、模写をするなどして、西洋絵画の真髄に触れ、マチスやピカソなどの20世紀初頭の前衛絵画の影響を受けながら、帰国後、独自の写実絵画の可能性を模索しました。

宮本三郎が特に多大な影響を受けたのは、マチスの奥行きを拒否した裸婦と室内の壁紙文様が一体化した装飾的な絵画でした。宮本の裸婦もシーツの文様と浴衣を着た裸婦が一体化しています。陰影をなくしたため、裸婦の重さが消失し、まるで裸婦が画面から転げ落ちて来そうな不思議な絵画が誕生します。以後、宮本の女性像の探求は画業の中心となり、留まるとことを知りません。

着衣のポートレート、ベッドに横たわる裸婦像、椅子に腰かける女性座像、鏡の前の裸婦立像、着衣の全身像など、様々な構図の作品が次々と生まれます。

モデルの女性の髪形や顔の表情、肌の色、衣装の素材や柄、クッションの小道具なども微妙なタッチで描き分け、 室内の背景や床面についても様々な色や柄を試み、無地や装飾的な文様を組み合わせ、女性像を千変万化させます。

一方、もう一つのテーマである花も初期から晩年に至るまで様々な画風で描いています。最初は、フォーヴィスムの画家、ドラン風の太いタッチで描く花瓶に挿した花の絵です。次に登場するのは、18世紀フランスの画家シャルダンを彷彿させる静物画で、観るものに詩情を感じさせます。そして晩年になると、原色の赤や緑、青を多用した強烈な色遣いと荒々しいタッチで、宮本独自の花の静物画が生まれます。

宮本三郎が生涯を通じて追求したテーマである"花々と、女たち"は、いずれも儚い命の光り輝く瞬間を捉えており、生命への讃歌が謳われています。花と女性をモチーフとした今回の展示で、宮本三郎の絵画に込めた思いを感じて頂ければ幸いです。

## ◆各画像は広報用として提供しております。ご希望の際は広報担当までお問合せください。



《花と女》1932年



《バレリーナ》1962年



《(静物/壷花コップ)》1961年頃



《かいう》1968年頃



《画室の裸婦》1954年

## ◆宮本三郎(みやもと・さぶろう)について

1905年5月23日に現在の石川県小松市松崎町に生まれ、1935年7月より世田谷区奥沢にアトリエを構えた、昭和を代表する世田谷区ゆかりの洋画家です。

川端画学校で富永勝重、藤島武二、また個人的には安井曾太郎に指導を受け、戦前は二科展を中心に発表を行いながら、雑誌の挿絵や表紙絵の制作でも活躍。戦時中は従軍画家として藤田嗣治、小磯良平らとともにマレー半島、タイ、シンガポールなどに渡り《山下、パーシバル両司令官会見図》(1942年)をはじめ、数々の作戦記録画を制作しました。戦後は、熊谷守一、田村孝之介らと第二紀会を設立。生来の素描力を土台に、さまざまに画風を変えながらも、人物を主たるテーマとして制作、晩年は花と裸婦を主題にした豪華絢爛な絵画世界を構築します。1974年10月13日、腸閉塞による心臓衰弱のため、69歳で他界。



### ◆ギャラリートーク

担当学芸員による展示解説。入館料のみでどなたでもご参加いただけます。

日 時 2019年6月8日[土]11時~ 2019年7月13日[土]11時~

場所 当館2階展示室 参加費 無料(観覧料別途) ※事前申込不要/20分程度

#### ◆サマー・ワークショップ2019

展覧会会期中8月にどなたでも気軽に参加できるイベントを開催します。 ※詳細はホームページなどでお知らせします。

# ◆このほか、当館では年間を通して講演会やワークショップ、コンサートなどを開催しています。

[参考] 2018年度の活動



「いろとかたちのおはなし会」 (2018年11月18日)



「ニューイヤー・コンサート」 (2019年1月27日)



「クロッキー講座 女性を描く」 (2018年7月15日)

#### ◆交通案内

東急東横線・大井町線「自由が丘」駅下車/徒歩7分 東急大井町線「九品仏」駅下車/徒歩8分 東急目黒線「奥沢」駅下車/徒歩8分 東急バス(渋11) 渋谷駅〜田園調布駅「奥沢六丁目」下車/徒歩1分 東急バス(園01) 千歳船橋〜田園調布駅「浄水場前」下車/徒歩10分 ※当館の来館者用駐車場は、車椅子の方用スペース1台分のみとなります

#### ◆お問い合わせ先

宮本三郎記念美術館 (広報担当) Email miyamoto.annex@samuseum.gr.jp TEL 03-5483-3836 FAX 03-3722-5181 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館